

平成29年度 全国栄養クリニック連絡会

現在、全国で管理栄養士養成課程が設置されている大学中、6大学で栄養クリニックが設置されている。平成23年度から5施設による栄養クリニック連絡会が日本栄養改善学会学術総会の自由研究集会を利用し、開催されている。この会は施設間の相互関係を深め、施設や研究活動の更なる発展を目的として開催されている。

第7回となる今年度は、京都女子大学が世話役となり準備を行い、当日の運営を務めた。栄養クリニックの設置を予定している大学も参加して、下記の通り開催された。

日時：平成29年9月13日（水）18：00～20：00

場所：アスティとくしま（第64回日本栄養改善学会学術総会 自由研究集会内）

参加施設・参加者数

愛知淑徳大学 クリニック・健康相談室	4名
京都女子大学 栄養クリニック	8名
女子栄養大学 栄養クリニック	6名
園田学園女子大学 人間健康学部 食物栄養学科	4名
天使大学 天使健康栄養クリニック	2名
中村学園大学 栄養クリニック	6名
武庫川女子大学 栄養クリニック	5名

他、10の大学から19名の出席があった。

当日のスケジュール

17：30 受付開始

18：00 開会のあいさつ

司会：宮脇尚志（京都女子大学 栄養クリニック長）

18：10 各大学の発表（下記7校）

19：15 総合ディスカッション（質疑応答含む）

19：45 閉会の挨拶

発表および自由討論

テーマ：栄養クリニック運営上の工夫と課題

発表者：女子栄養大学 栄養クリニック 蒲池 桂子

中村学園大学 栄養クリニック 上野 宏美

愛知淑徳大学 健康医療科学部 榎 裕美

天使大学 天使健康栄養クリニック 山口 敦子

武庫川女子大学 栄養クリニック 進藤 弥生

園田学園女子大学

人間健康学部食物栄養学科 餅 美知子

京都女子大学 栄養クリニック 木戸 詔子

発表および自由討論の内容

発表では、栄養クリニックの立ち上げや設立の目的、大学における栄養クリニックの位置付けや学科との連携、活動資金、主な業務内容やマンパワーなど、各施設の状況について、様々な情報が提示された。課題としては、マンパワーの問題がどの施設も大きな課題となっていた。各施設により運営の方法や取り組み内容が大きく異なるが、“診療権を得ているか否か”で栄養クリニックの活動内容が全く異なっていた。

自由討論においても、「診療権」についての討論が中心であり、クリニックの発展や独立採算のために診療報酬を得ることがよいのではないかと、診療報酬を得ることで、いろいろな可能性がさらに広がるのではないかとという点で議論が繰り広げられた。

次年度のさらなる発展的な連絡会の開催と各施設の発展を祈念して閉会した。

本年度世話役の役割と次年度に向けて

約3ヵ月前から準備を開始し、議題の決定、発表・参加施設の取りまとめを行った。会場・必要物品の手配、当日の運営、司会・進行、議事録の作成・参加施設への送付を担当した。

来年度は9月3日、新潟で開催され、引き続き京都女子大学が世話役を務める。今年度を振り返り、来年度の連絡会がより有意義な会となるよう準備していきたい。

（徳本美由紀）